

1. 実施者の概要



- 「島精機製作所」は、無縫製型編機の製造メーカーとして、世界的シェアを有する和歌山県を代表する企業であり、国内外に製品を出荷している。
- 「長栄物流」は、島精機製作所からの運送委託により浅川組運輸の保税倉庫に横持輸送している。(工場と倉庫間の実運送)
- 「浅川組運輸」は、島精機製作所からの受注情報を受け、国内外に輸送手配している。海外向けの輸送では、神戸港、大阪港までコンテナに積載し輸送。その際、税関手続等の輸出手続の一切を実施。なお、国内輸送は島精機製作所が長栄物流に運送委託している。
- 内航海運事業者として「OOCLジャパン」が手配する内航海運業者が、和歌山港から神戸港までコンテナ内航船にて輸送。その後、神戸港から海外向けの外航船舶に積替えされ、輸送。

2. 事業概要

問題・課題	取組内容
<p>【運転者】</p> <p>労働時間の削減</p> <p>↓</p> <p>輸送車両数を削減</p>	<p>○神戸・大阪港へのトラック輸送から、内航海運を活用することで、運転者の労働時間を削減する。</p> <p>→ 和歌山から神戸・大阪港への輸送をトラック輸送から内航海運に切り替えることにより、トラック輸送を無くすことになるが、浅川組運輸はその分の車両を他の仕事に振り替えることができ、運転者不足にも対処できる。</p> <p>→ 神戸・大阪港から和歌山に戻る際には、トラックにより空コンテナを輸送していたため、輸送効率も低い状態にあったが、内航海運により空コンテナを輸送することが可能である。</p>
<p>【発荷主】</p> <p>輸送コストの削減</p> <p>CO2排出量の削減</p>	<p>○発荷主にとって和歌山から神戸・大阪港への輸送を内航海運にモーダルシフトすることは、輸送コストの削減とCO2排出量の削減に寄与するための取組を実施する。</p> <p>→ 和歌山から神戸・大阪港への輸送を100%モーダルシフトするためには、内航船の寄港回数を増加させるなど課題が残る</p>

3. 実態と課題

○和歌山⇄神戸港間、1往復で約8時間程度の拘束時間を要していたこと

4. 事業内容

島精機製作所

積込作業



輸送



○和歌山から神戸港までの輸送をトラック輸送から難航コンテナ船へシフトすることで、運転者の拘束時間が縮減。
○運転者不足に対応できるようになった。

浅川組運輸

到着



取卸作業



梱包作業



保管



出荷・コンテナ積込



倉庫からコンテナ内航船への積込

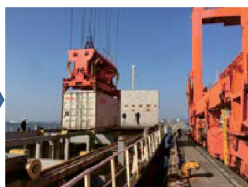
和歌山港へ出発



和歌山港:コンテナヤード



コンテナ内航船へ積込



神戸港へ出船



5. 結果

取組前

運転者の拘束時間: 8時間(往復)

3ヵ月間 : 約7時間×430回=3010時間

和歌山→神戸港

神戸港→海外納品地(中国、東南アジア等)

○改善前コスト「100」

取組後

運転者の拘束時間 : 1時間(往復)

→ コンテナ1本当たり ▲7時間の削減

3ヵ月: 1時間×430回=430時間に削減

3ヵ月間削減時間 : ▲7時間×430回=▲3010時間

(約87.5%削減)

○改善後のコスト※「75~95」(▲5%~▲25%)

(※コンテナ内航船利用では発荷主の貨物量、海外仕向地等の要因により費用が変化)

6. 結果に結びついたポイント

- 発荷主は運送事業者の意見を取り入れながら、的確なリーダーシップを発揮し、成果に結びつけたこと